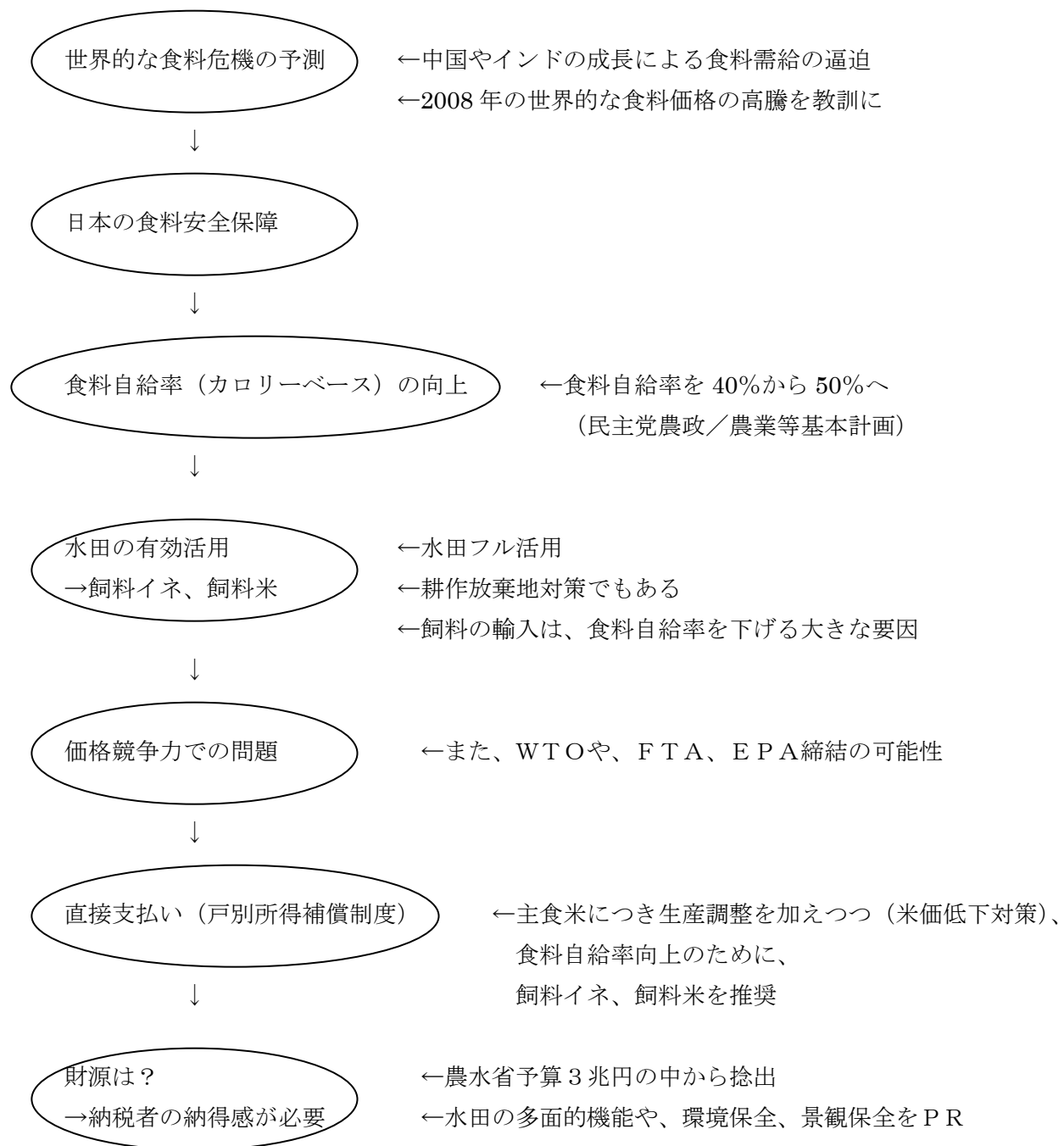
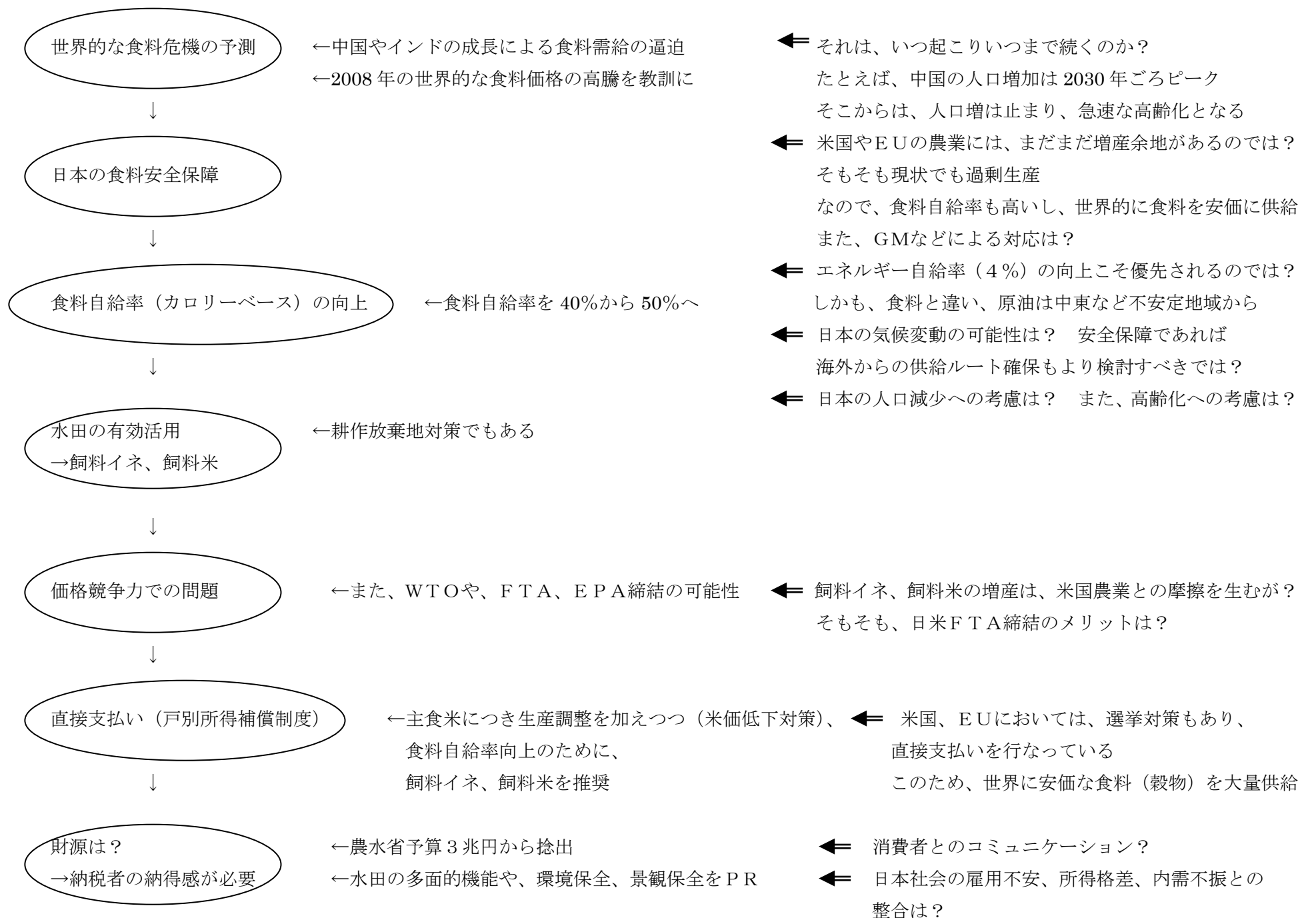


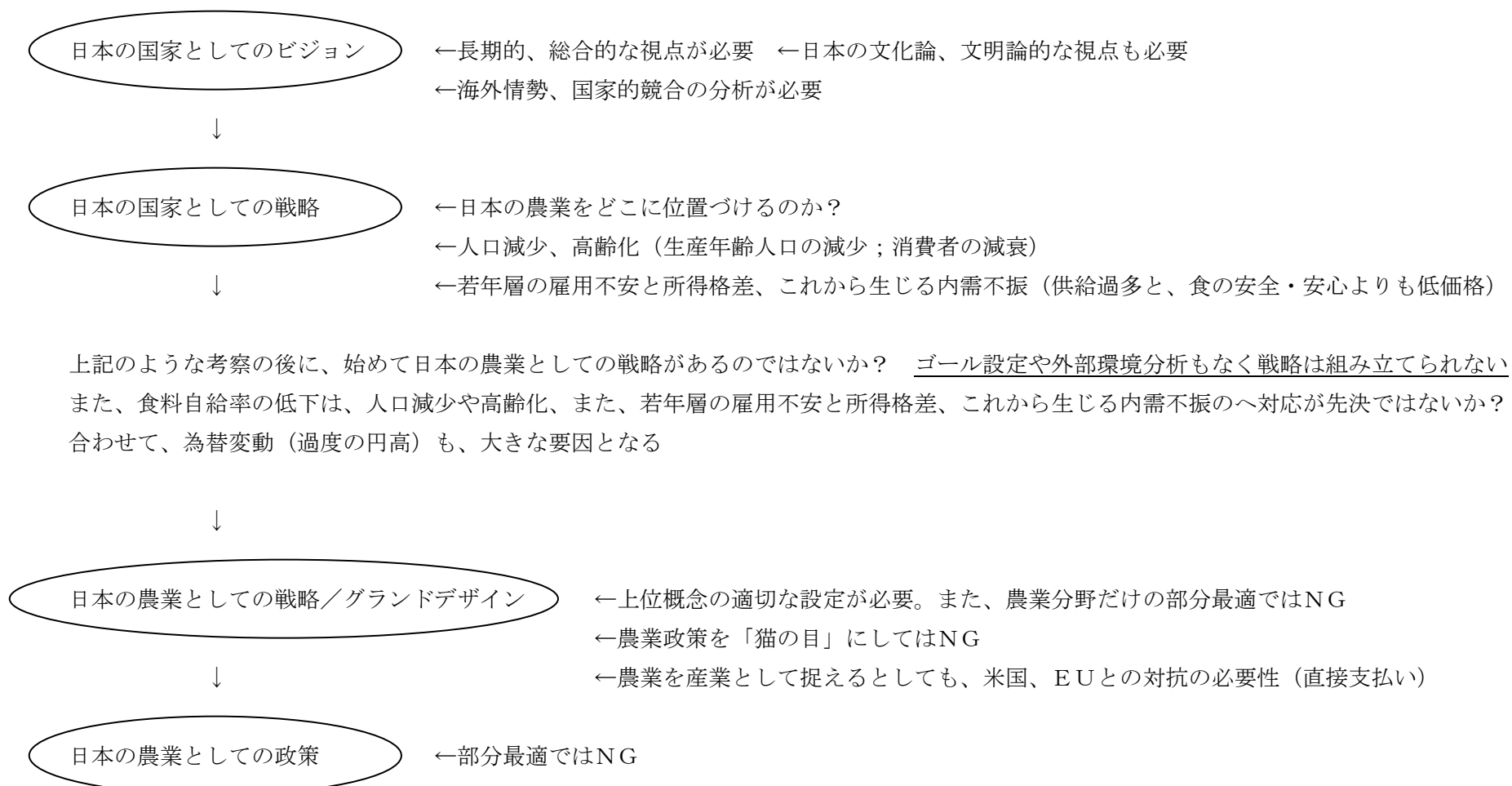
図表1 日本農業の論点の流れ (農水省の考え方がこれに該当するといえる)



図表 1-1 日本農業の論点の流れ (疑問点)



図表2 日本農業を取り巻く構造



図表3 日本農業の論点整理 (外部と内部、マクロとミクロ)

外部要因+マクロ要因	内部要因+マクロ要因
<ul style="list-style-type: none"> ・食料需給の逼迫と価格の暴騰 → 投機資金の流入 ・中国、インド、東南アジア、中東、アフリカの人口動態 ・新興国の購買力の上昇 ・米国の農業と農業政策 ・EUの農業と農業政策 ・中国や韓国の農業と農業政策 ・グローバル化 → WTO、FTA、EPA ・気候変動 ・貧困、飢餓 ・水問題 ・地政学的問題 → 世界的な安定 	<ul style="list-style-type: none"> ・食料安全保障 →エネルギー安全保障(原油がなくては、生産も物流もできない) ・海外からの安定供給(地政学的) →米国、カナダ、豪国 ・食料自給率 →カロリーベースに対する批判もある ・気候変動 ・日本の経済力低下(比較的な購買力の下降) ・人口減少と高齢化(生産年齢人口の減少) ・世代間所得格差とデフレ(供給過多) ・円高の進行 ・国家財政 ・食の文化、伝統 ・担い手(後継者、新規就農、研修生(低賃金単純労働者)) ・戸別所得補償制度の導入 ・生産調整(主食米の供給過剰) ・備蓄 ・耕作放棄地 → 放棄の程度にもよる。そもそも農業問題? ・JAと選挙 ・農林水産省 → 助成金、補助金。公共事業 ・農地の流動性 → 優良農地の保護。安易な転用と産廃の排除 ・土地の収益 ・農業委員会の機能強化 → あるいは、別組織へ移行か ・農地への税制。また、相続 ・食の安全・安心(法制) ・有機農業等(法制) → 環境保全型農業
外部要因+ミクロ要因	内部要因+ミクロ要因
<ul style="list-style-type: none"> ・中国からの輸入農産物への不信感 ・発展途上国農地の争奪 ・農薬、化学肥料の過剰摂取による土壌枯渇 ・種苗の独占 ・GM 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の所得格差 → 専業か兼業か、品目、規模、地域の問題 ・コメ農家の収入減少 ・農業経営 → 経営のわかる農家の不足。また、企業参入の動向 ・大規模化を阻む要因 → 土地持ち非農家など ・農業支援ビジネス ・農業金融 ・農業技術 ・土壌 ・農薬、化学肥料、重油、農業機械などのコスト要因 ・農産物の流通 → スーパー、量販店による価格支配 ・食育 ・食料廃棄 ・食の安全・安心(消費者のマインド) ・生産者と消費者の情報格差、コミュニケーション不足 ・新規就農者と既存地域民とのギャップ ・有機農業等 ⇔ 慣行農法 ・中山間地域 → 中間と山間では異なる。そもそも農業問題? ・景観保全 → 水源保全、涵養。生き物多様性 ・酪農 ・集落営農 → 新しいルール必要性 ・土地改良 ・都市農地 ・農産物の輸出 → JAPANブランド ・GM